



## 第3回全国展開ワークショップ、第3四半期活動報告、短期専門家活動など

全国の県公共事業運輸局および水道公社が集う全国展開ワークショップの第3回目が開催されました。今回のテーマはPPP (Public Private Partnership) です。ラオス水道分野でも民間企業の参入が活発になりはじめており、関係者全員でPPPについて協議するよい機会となりました。

C/P組織ごとの当面の活動項目とその進捗報告は、今回は水道公社が作成・実施している長期計画を報告します。

他には、2015年度後期短期専門家赴任、インターンの活動などもお伝えします。



### 第3回全国展開ワークショップ開催

2015年6月から開始した全国展開ワークショップが第3回目を迎えました。

今回のテーマはPPP (Public Private Partnership) です。近年ラオス水道分野でも民間企業の参入が活発化してきていますが、関係者の認識や期待は様々なようです。ワークショップではJICA PPPアドバイザー服部聡之氏から多くのデータを引用してPPPの全体像や水道分野でのPPP現状紹介、PPPに対する賛否両論、フィリピン・マニラでの実例(企業破産)、PPP実施時の留意点などが基調講演として報告されました。それに基づき、参加者はラオス水道分野のPPPについて現状 (続きは2ページ)



### C/P活動進捗報告:水道公社長期計画

「水道公社の中長期的視野に基づく事業管理能力を強化する体制が整備される」MaWaSUプロジェクトの目標です。

その中で中心的な役割を果たすのが長期計画。これまで3つのパイロット水道公社が作成し、実施を試みてきた長期計画の内容と今後の全国展開計画を紹介します。

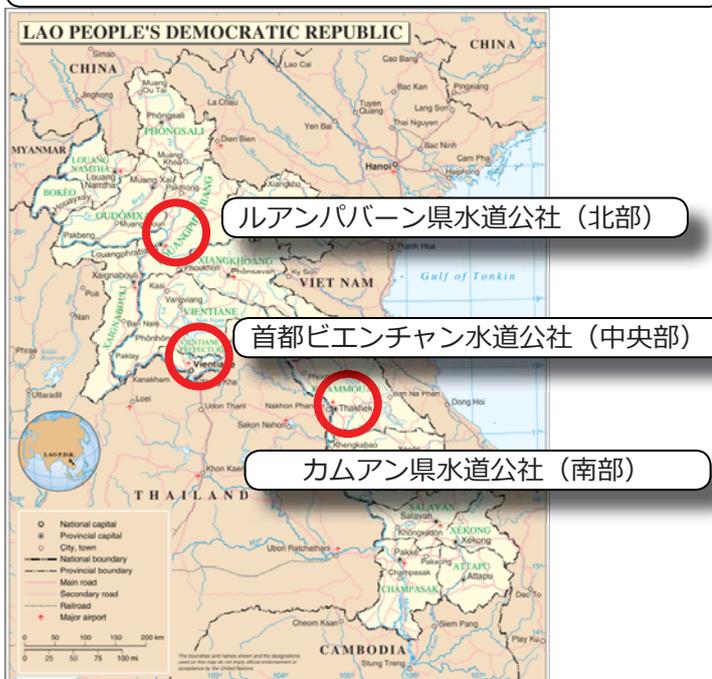
現在3つのパイロット水道公社が作成している長期計画は2020年までの長期計画です。2016年にはこれまで作成した長期計画の経験を踏まえ2030年までの長 (続きは2ページ)

### ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト

ラオス国では1999年に出された首相令により、2020年までに都市人口の8割に対して24時間の安全で安定的な都市給水を行うことを目標としています。JICAをはじめ各ドナー機関はこれまでに様々な支援を行っていますが、2010年の都市における水道普及率は55%にとどまっています。国が掲げる目標値を達成するためには、水道施設のさらなる拡張・更新、そのための事業運営の効率化を通じた投資資金の確保が必要です。事業運営効率化に向けては、これまでに短期的な計画策定とモニタリングの枠組みが設定されています。しかし、自力では短期計画の策定や更新ができない水道公社が多く実効性に乏しい枠組みとなっています。また、水道施設拡張・更新に必要な、中長期的な水需要予測や財政収支見通しに基づく事業計画の策定とモニタリングは管轄省庁である公共事業運輸省による制度化すらされておらず、現にほとんどの水道公社は中長期事業計画を有していません。

そのため、本プロジェクトでは、公共事業運輸省を主なカウンターパートとし、首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県の水道公社をパイロット水道公社に選定し、①事業計画策定に必要なデータ管理強化、②短期・中期・長期事業計画策定/実施能力強化、③事業計画モニタリング強化、④水道事業計画技術ガイドライン整備、⑤事業計画策定の全国普及へのメカニズム構築を行い、事業管理能力強化の仕組みの整備を行っています。

### パイロット水道公社 (3公社)



ルアンパバーン県水道公社 (北部)

首都ビエンチャン水道公社 (中央部)

カムアン県水道公社 (南部)

## 第3回全国展開ワークショップ開催(続き)

の整理と問題分析を行いました。

PPPは一般的に「小さな政府を志向し、「民間にできることは民間に委ねる」という方針により、民間事業者の資金やノウハウを活用して社会資本を整備し、公共サービスの充実を進めていく手法」(ウィキペディア・フリー百科事典)とされていますが、ラオスでは民間企業の資金に多くの関係者が期待しているようです。そのため、問題分析では民間企業に水道事業のノウハウが蓄積されておらず支障をきたしている、もしくはきたす恐れがあることが確認されました。

また、水道事業のノウハウが蓄積されていないことから、資金見積もりが十分ではなく、事業が中断された例も共有されました。

規制面においては、保健省水質基準を遵守する枠組みがない民間企業が存在すること、行政側も指導・監督する枠組みが弱い問題が発生してから対処する構図が指摘され、水道は生命に関わる重要な分野であることが関係者間で再認識されました。



ラオス水道分野PPPについて議論するワークショップ参加者

ラオス水道分野PPPにおける法律やガイドラインはまだ整備されていません。現在MaWaSUプロジェクトは、水道局・水道課がPPP導入ガイドライン作成に向けて専門家団と勉強会を続けています。(\*2015年12月18日に住宅都市計画局より分離・独立する形で水道分野を管轄する水道局が発足)

ワークショップでの議論を総括した服部アドバイザーの言葉は今後ラオスPPPの原点です。「PPPはPublicが行うべき事業をPrivateに委譲することである。Privateに全てを任せ責任を負わせるのではなく、事業の責任はPublic。その観点を我々は見失ってはいけない。」

## 埼玉県企業局・草の根事業署名式

MaWaSUプロジェクトへ短期専門家を派遣している埼玉県企業局が浄水場維持管理に特化したJICA草の根技術協力事業(JICA Partnership Program)を開始するにあたり2015年11月に署名式が行われました。このプロジェクトはMaWaSUプロジェクトが作成支援をしている長期計画の浄水場維持管理に関する各計画と連携する形で3パイロット水道公社(首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県)を対象に実施されます。2016年2月に調査団が訪問しプロジェクト活動内容が形成されていきます。

2015年11月6日  
Vientiane Times記事

### Japan extends support for water supply management

**Times Reporters**  
The Japanese government has provided further support to improve the operations of water supply state enterprises in Vientiane and the provinces of Luang Prabang and Khammouan. The Department of Housing and Urban Planning, the Ministry of Public Works and Transport, and the Public Enterprise Bureau, Saitama Prefecture, Government of Japan, yesterday signed a memorandum of understanding for a new project.  
The initiative aims to improve water treatment plant operations and maintenance management under the Japan International Cooperation Agency (JICA) Partnership Program.  
Director General of the Housing and Urban Planning Department, Mr. Khamthavy Thapthasath, Executive Director of the Bureau of Public Enterprise, Saitama Prefecture, Government of

Japan, Mr. Keiichi Inoue, and other JICA representative, Mr. Kimura Hirotsugu, all signed the agreement.  
The Lao government has invested a considerable amount of money to improve and expand water supply systems in urban districts across the country. "So far, over 50 districts are equipped with a water supply system, which means we are able to account for more than 60 percent of the water supply in urban districts," Mr. Khamthavy said.  
"Along with the development of water supply systems, we are continuously enhancing the capability of water supply management across the country." The JICA Technical Cooperation Project has promoted business operation plan writing and plan observation and inspection in water supply state enterprises in Vientiane and the provinces of Luang Prabang and Khammouan," he added.  
To ensure the quality of water supply into the future, it is necessary to empower management and maintenance staff in water supply plants, he noted.  
"The department has requested the Public Enterprise Bureau of Saitama Prefecture, Government of Japan, to provide technical support," Mr. Khamthavy said.  
Under the agreement, the project aims to ensure a stable supply of high-quality water and to contribute to the development of all water projects in Lao.  
These objectives will be accomplished by improving the technical skills of employees in the target areas and carrying out sound water treatment plant operations, maintenance management, and water quality management.  
The project is being implemented in cooperation with the Capacity Development Project for Improvement of

Management Ability of Water Supply Authorities, better known as Project MaWaSU.  
While Project MaWaSU supports the comprehensive capacity of water supply state enterprises, the JICA Technical Cooperation Project focuses on water treatment plant operations and maintenance management.  
Main project activities include the dispatch of technical experts from Saitama Prefecture to train Lao technical staff, and



3パイロット水道公社長期計画

## C/P活動進捗報告:水道公社長期計画(続き)

期計画を作成する予定です。

長期計画の冒頭には水道事業ガイドラインで評価ツールとされている23のPI(業務指標)を用いて現状数値と2020年の目標数値が記載されています。また、2020年計画給水区域を表す地図も掲載されており将来像が示されています。その将来像および目標数値を達成するために「Safe(安全)」、「Stable(安定)」、「Sustainable(持続)」の3Sを柱に12分野、合計20の計画が含まれています。リストにしてみると以下ようになります。

### I. 安全な水を供給する水道

1. 水質管理体制整備計画
2. 残留塩素低減地域解消のための配水管整備計画

### II. 安定して水を供給する水道

3. 新設・拡張事業計画
4. 既存施設整備計画(大規模修繕～更新)
5. 水運用計画
6. 無収水管理計画
- 6-1. 実態調査～配水量分析～(Minimum Night Flow調査)実施計画
- 6-2. 給水管情報整備計画
- 6-3. 計画的漏水調査計画
- 6-4. 漏水箇所特定・修繕体制整備計画
- 6-5. Master Meter整備計画
- 6-6. 水圧管理計画
- 6-7. 配水管整備計画
- 6-8. 水道メータ整備計画
- 6-9. 針業務改善計画

### III. 健全な水道事業経営(Sound Manage)をする水道

7. 人材育成計画
8. 職員採用計画
9. Call Center設立・改善計画
10. お客様アンケート実施計画
11. 水道教室実施計画
12. Website整備計画

このような長期計画を水道公社自身で作成するのは初めての事です。まだまだ改善の余地はありますが、計画→実行→評価→改善(PDCAサイクル)を繰り返すごとに各ステージでの質が向上するよう支援。それがMaWaSUプロジェクトです。

3パイロット水道公社の実績・経験を今後全国の水道公社へ展開していきます。全国展開ワークショップはすでに第3回目(別項参照)を実施し、今後も四半期に1度実施していく予定です。加えて、ミニ(地域)ワークショップ、3パイロット水道公社による出前講座+OJT研修活動も活発になる予定です。

# 2015年度後期短期専門家着任

2015年度後期短期専門家が着任しました。

2012年から延べ34名の短期専門家のバトンを引き継いでの着任です。着任順に、川崎市上下水道局・阿部晃文専門家(水質管理)、横浜市水道局・鈴木清貴専門家(水道事業経営管理・財政)、さいたま市水道局・林佑樹専門家(配給水管網)、さいたま市水道局・垣貫純一専門家(水道事業経営管理・営業)の4名です。11月26日～3月5日まで、それぞれ約2～3ヶ月の派遣期間中にMaWaSUプロジェクトの活動進捗を支援します。



阿部晃文専門家(左)

今期間の3パイロット水道公社への主な支援内容は、①2015年決算と②予算確定後の2016年活動年次計画の策定です。

予算配分はこれまで主に前年の活動・支出を踏襲する形で計画部門で調整されてきましたが、2016年予算編成からは長期計画に基づき各部署から予算要求を収集し、計画部門および経営陣による査定を経て各部署へ予算を配分する方式を採用しました。前年支出を踏襲する方法は経験に基づいているため大きく逸脱することはありませんが、将来の目標を達成することができるかどうか疑問が残ります。一方で、予算要求を収集し、査定、予算配分を決定する方式は初めての試みのため、戸惑いもあり、どうしても前年踏襲にならざるを得ない分野もあるようです。しかし、この方式を採用することにより各部署の自主性、責任感も高まり、水道公社として将来の目標に向かって活動するという意識を表すこととなります。

短期専門家の役割は、予算配分が決定した部署に対して2016年活動年次計画を確定し、実際に計画を実行していく支援となります。



鈴木清貴専門家(左から2人目)

この期間には短期専門家に加えてインターン1名がMaWaSUに参加しました(前期のインターン2名を加えると合計3名)。大学で水を専攻する学生ではないからこそ、水の大切さ、水道事業の大切さや国際貢献の難しさなど実際に体験・勉強してもらうことが目的です。1ヶ月という短い期間でしたが、MaWaSUプロジェクトの目的や活動に加え、休日を利用した水道未整備の地域や観光開発が始まった地域への視察を通じて、「水道」、「ラオスの水道事業と求められること」、「MaWaSUプロジェクト」、「国際貢献の取り組み方」からなる立派な報告書を作成し理解が深まった様子が伺われました。今後、3名のインターン体験記を「プロジェクト・ダイジェスト」で紹介する予定です。



下村リーダーと四方雅之インターン(左)

The Capacity Development Project for Improvement of Management Ability of Water Supply Authorities

**Intern in JFY2015 (2)**

**Mr. Masayuki Shikata**  
Intern in Project MaWaSU  
Intern period: 14/12/2015 - 12/01/2016

Nice to meet you.

My name is Masayuki SHIKATA. I am a third year student of Keio University majoring in political economics. A meeting with a monk in Cambodia made me interested in international contributions. I think JICA is the best place for international contributions. When I traveled or worked in developing countries, I have often come across JICA projects and realized people know JICA and thank Japan. I want to see with my own eyes the actual situation of JICA project in Laos and learn many things from you. I am looking forward to seeing you.

Thank you.

## ADBプロジェクト:井出益二専門家



井出専門家

ADB(アジア開発銀行)はラオス水道分野における最大の開発支援パートナーのひとつです。ADBは継続的にラオス全国の水道施設整備を実施しています。

最も新しいADBプロジェクト「水道・衛生分野プロジェクト」ではSmall Townと呼ばれる郡の中心部や人口が密集しつつある集落郡への水道施設整備を行っています。そのプロジェクトの1つのコンポーネントとしてNRW(無収水)管理が含まれています。そしてNRW管理に日本人の井出益二専門家(横浜ウォーター)が短期ベースで赴任されておられます。

井出専門家は2007～2009年にベトナム・フエでのJICA技術協力プロジェクト・チーフアドバイザーを務めるなど海外支援の経験が豊富な専門家です。

ADBプロジェクト・NRW管理では北部ルアンナムター県をパイロット県として技術指導を始めておられます。今後MaWaSUプロジェクトとの連携も視野に入れて情報共有・協力を行っていきます。

The Capacity Development Project for Improvement of Management Ability of Water Supply Authorities

**Short-term experts in JFY2015 (II)**

**Mr. Akifumi Abe**  
Water quality management  
Working period: 26/11/2015 - 23/02/2016

**Mr. Kiyotaka Suzuki**  
Finance  
Working period: 26/11/2015 - 23/02/2016

**Mr. Yuki Hayashi**  
Pipeline network planning  
Working period: 10/12/2015 - 05/03/2016

**Mr. Junichi Kakinuki**  
Water supply finance management  
Working period: 04/01/2016 - 05/03/2016

\*\*\* 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております \*\*\*

ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト事務所

Eメール/電話 : jicapimawasa@gmail.com / (+856-21) 260493

プロジェクトホームページ : <http://www.jica.go.jp/project/laos/012/index.html>